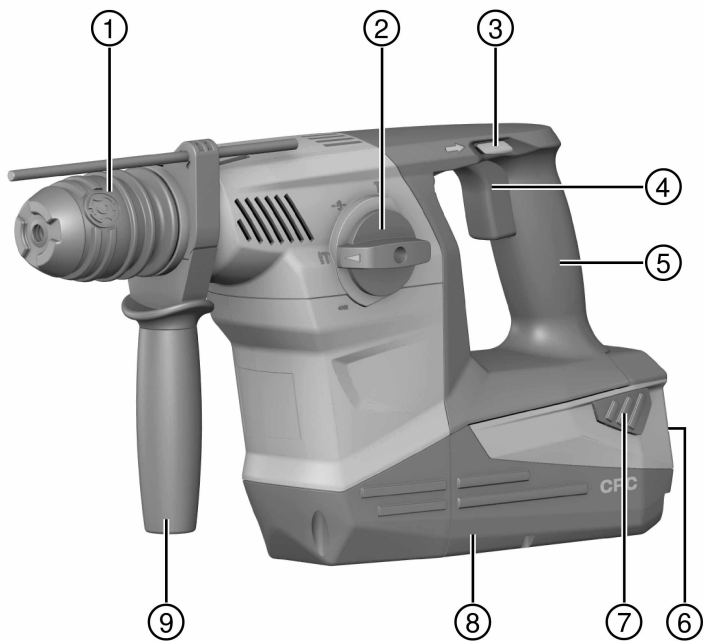


HILTI

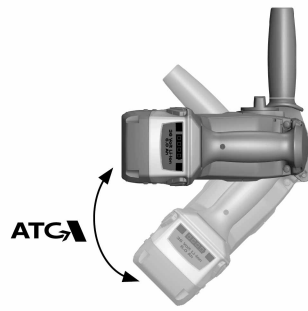
TE 30-A36

English	en
Dansk	da
Svenska	sv
Norsk	no
Suomi	fi
Русский	ru
Български	bg
Română	ro
Türkçe	tr
عربي	ar
Latviešu	lv
Lietuvių	lt
Eesti	et
Қазақ	kk
日本語	ja
한국어	ko
繁體中文	zh
中文	cn





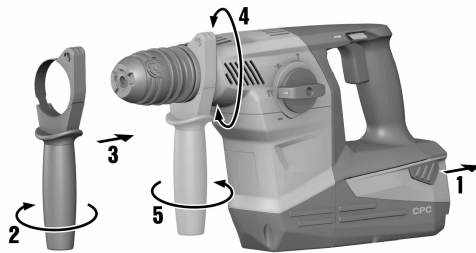
2



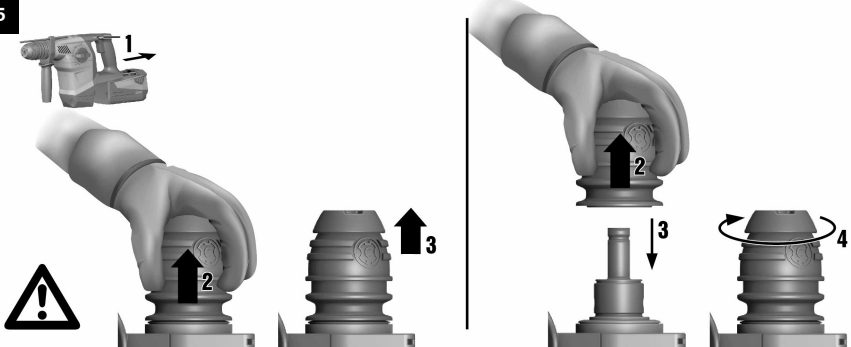
3



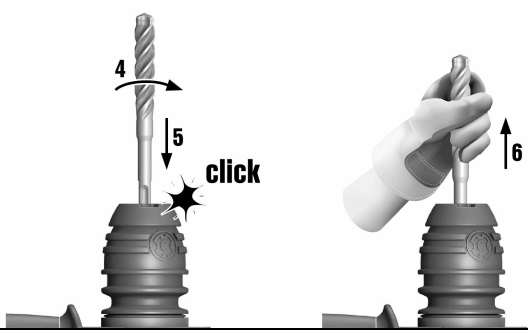
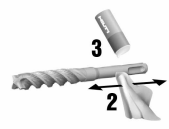
4



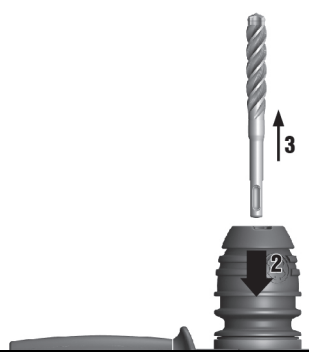
5



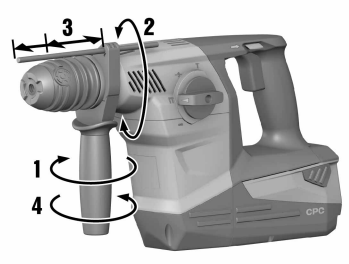
6



7



8



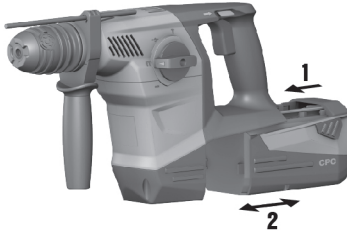
9



10



11



TE 30-A36




en	Original operating instructions	1
da	Original brugsanvisning	10
sv	Originalbruksanvisning	19
no	Original bruksanvisning	28
fi	Alkuperäiset ohjeet	37
ru	Оригинальное руководство по эксплуатации	46
bg	Оригинално Ръководство за експлоатация	57
ro	Manual de utilizare original	67
tr	Orijinal kullanım kılavuzu	77
ar	دليل الاستعمال الأصلي	86
lv	Originālā lietošanas instrukcija	96
lt	Originali naudojimo instrukcija	106
et	Originaal-kasutusjuhend	116
kk	Түпнұсқа пайдалану бойынша нұсқаулық	125
ja	オリジナル取扱説明書	135
ko	오리지널 사용설명서	144
zh	原始操作說明	153
cn	原版操作说明	161

1 記録データ

1.1 記号の説明








1.1.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。記号と組み合わせて以下の注意喚起語が使用されています：

	危険！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。
	警告事項！ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。
	注意！ この表記は、軽傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

1.1.2 記号

以下の記号が使用されています：

	使用前に取扱説明書をお読みください
	本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報
	回転のみ
	回転 + 打撃（打撃穿孔）
	正逆回転機能
	ハツリ作業
	チゼル角度調整
n_0	無負荷回転数
/min	毎分回転数

1.1.3 図

本取扱説明書の図は理解を容易にするためのもので、実際の仕様とは異なる場合があります。

2	この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています。
3	図内の付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順の付番とは一致しない場合があります。
11	概要図には項目番号が付されています。製品概要のセクションでは、凡例の番号はこの項目番号に対応しています。

1.2 本書について

- ▶ ご使用前にこの取扱説明書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- ▶ 本書および本体に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- ▶ 取扱説明書は常に本体とともに保管し、他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

1.3 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。機種名および製造番号は銘板に表示されています。

- ▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。 ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

製品データ

コンビハンマードリル	TE 30-A36
製品世代	02
製造番号：	

予告なく変更されることがあります、また誤記の可能性を完全には排除できません。

2 安全

2.1 安全上の注意

以下の章で言及されている安全上の注意事項は、準拠する規格が取扱説明書に記載するように定めている電動工具に関するすべての基本的な安全情報を含んでいます。したがって、この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

2.1.1 電動工具の一般安全注意事項

△ 警告事項 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- ▶ パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 屋外工事の場合には、屋外専用の延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- ▶ 湿った場所で電動工具を動作させる必要がある場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用すると、感電の危険が小さくなります。

作業者に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。

- ▶ 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

電動工具の使用および取扱

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- ▶ スイッチに故障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みなさい方による本体のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- ▶ 電動工具、アクセサリー、先端工具などは、それらの説明書に記載されている指示に従って使用してください。その際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

バッテリーの使用および取扱

- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ 使用しないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属片を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーが正常でないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

サービス

- ▶ 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

2.1.2 ハンマーに関する安全上の注意

- ▶ 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- ▶ 本体には一緒に納品された補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- ▶ 先端工具が隠れた電線に接触する可能性のある作業を行う場合は、必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.1.3 その他の安全上の注意

作業者に関する安全

- ▶ 本体は、必ず技術的に問題のない状態で使用してください。
- ▶ 本体は決して加工や改造を加えないでください。
- ▶ 本体は、常に両手でグリップを掴んでしっかりと保持してください。グリップは乾燥した清潔な状態を保ってください。
- ▶ 休憩を取って緊張をほぐし、指を動かして血行を良くするように心がけてください。

- ▶ 回転部分には手を触れないでください。本体の電源は必ず作業場に入れてください。回転部分、特に回転している先端工具は負傷の原因となります。
- ▶ 本体は、体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- ▶ 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。
- ▶ 含鉛塗料、特定の種類の木材、コンクリート / 石材、石英を含む岩石、鉱物および金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が取り扱うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効率を高めるには、適切な可動集じん装置を使用してください。必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防じんマスクを着用してください。作業場の換気に十分配慮してください。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。
- ▶ 作業開始前に、作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。
- ▶ 各国の労働安全衛生法に従ってください。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 作業を開始する前に、作業領域に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを調査してください。誤って電線を損傷すると、本体外側の金属部分により感電事故が発生する可能性があります。

電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- ▶ 作業材料を固定します。作業材料は、手だけで固定するよりクランプまたは万力を使用したほうがより確実に固定されます。
- ▶ 先端工具がブロックしたら直ちに電動工具をオフにします。本体は側方へとずらすことができます。
- ▶ 電動工具は停止するまで置かないでください。

バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーは高温、直射日光および火気を避けて保管してください。爆発の恐れがあります。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80°C 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。これを守らないと、火事、爆発、火傷の危険があります。
- ▶ 損傷したバッテリー（例えば亀裂や破損箇所があったり、電気接点が曲がっていたり、押し戻されていたり、引き抜かれているバッテリー）は、充電することも、そのまま使用を続けることもできません。
- ▶ バッテリーを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、冷ましてください。バッテリーを冷ました後、ヘルティサービスセンターにご連絡ください。

3 製品の説明

3.1 製品概要 1

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| ① チャック | ⑥ 充電状態および故障インジケータ（Li-Ion バッテリー） |
| ② 機能切り替えスイッチ | ⑦ 追加機能（充電状態インジケータ作動）付きリリースボタン |
| ③ 正回転 / 逆回転切り替えスイッチ | ⑧ バッテリー |
| ④ 無段変速スイッチ | ⑨ デプスゲージ付きサイドハンドル |
| ⑤ グリップ | |

3.2 正しい使用

本書で説明している製品は、充電式のコンビハンマードリルです。本製品は、コンクリート、石材、木材および金属への穿孔作業用の工具です。さらに、本製品は石材への軽度～中程度のハツリ作業、およびコンクリートへの再加工作業に使用できます。

- ▶ 本製品には、必ずHilti の B 36 シリーズの Li-Ion バッテリーを使用してください。
- ▶ これらのバッテリーには、必ずHilti の C4/36 シリーズの充電器を使用してください。



注意事項

充電方法については、充電器の取扱説明書を参照してください。

3.3 アクティブトルクコントロール 2

このコンビハンマードリルはトルクリミッター方式安全クラッチに加えて、ATC（アクティブトルクコントロール）機能を備えています。

このシステムは穿孔作業中の安全性に配慮した設計で、コンビハンマードリルが突然にドリル回転軸を中心として回転した場合、瞬時にシャットオフ機能が働きます。例えば、ドリルビットが鉄筋を噛んだり、あるいは不意に先端工具が曲がったりした場合にこの機能が働きます。

作業は常に、正回転において本体が反時計回りの方向（作業者から見て）に回る分だけのスペースがあるところで行ってください。逆回転では、本体は時計回りの方向に回ります。回転運動が不可能な場合には、ATC が効きません。

3.4 Li-Ion バッテリーのインジケータ

Li-Ion バッテリーの充電状態および本体の不具合は、Li-Ion バッテリーのインジケータにより表示されます。Li-Ion バッテリーの充電状態は、2つのバッテリーリリースボタンのいずれかを押しと表示されます。

状態	意味
4 個の LED が点灯。	• 充電状態：75 %...100 %
3 個の LED が点灯。	• 充電状態：50 %...75 %
2 個の LED が点灯。	• 充電状態：25 %...50 %
1 個の LED が点灯。	• 充電状態：10 %...25 %
1 個の LED が点滅。	• 充電状態：< 10 %
1 個の LED が点滅、本体は作動不能状態。	• バッテリーが過熱あるいは完全に放電している。
4 個の LED が点滅、本体は作動不能状態。	• 本体の過負荷あるいは過熱。



注意事項

コントロールスイッチの操作中、およびこのスイッチから指を放してから 5 秒が経過するまでの間は、充電状態を確認することはできません。

バッテリーのインジケータの LED が点滅している場合は、「故障時のヒント」の章の注意事項を確認してください。

3.5 本体標準セット構成

コンビハンマードリル、サイドハンドル、デブスゲージ、取扱説明書。



注意事項

安全な作動のために、必ず純正のスペアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスペアパーツ、消耗品およびアクセサリは、最寄りのHilti センター、またはwww.hilti.com でご確認ください。

4 製品仕様

4.1 コンビハンマードリル

	TE 30-A36
定格電圧	36 V
重量 (EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠)	5.5 kg
1 回当たりの打撃力 (EPTA プロシージャ 05/2009 に準拠)	3.6 J
コンクリート / 石材への穿孔 (ハンマードリルビット)	6 mm ... 28 mm
木材への穿孔 (木工用ドリルビット)	3 mm ... 25 mm
金属への穿孔 (鉄工用ドリルビット)	3 mm ... 13 mm

4.2 騒音および振動値について (EN 60745 準拠)

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。曝露値の暫定的な予測にも適しています。記載されているデータは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、

データが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。曝露値を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。作業者を騒音および/または振動による影響から保護するために、他にも安全対策を立ててください（例：電動工具および先端工具の手入れや保守、手を冷やさないようにする、作業手順の編成）。








騒音排出値、EN 60745 準拠







サウンドパワーレベル (L_{WA})	105 dB(A)
サウンドパワーレベルの不確実性 (K_{WA})	3 dB(A)
排出サウンドプレッシャーレベル (L_{pA})	94 dB(A)
サウンドプレッシャーレベルの不確実性 (K_{pA})	3 dB(A)

合計振動値 (3 方向のベクトル合計)、EN 60745-2-6 準拠

コンクリートへの打撃穿孔 ($a_{h, HD}$)	11 m/s ²
ハツリ作業 ($a_{h, Cheq}$)	9 m/s ²
不確実性 (K)	1.5 m/s ²


5 ご使用方法

バッテリーを取り外す	3
サイドハンドルを取り付ける  注意 負傷の危険 コンビハンマードリルのコントロールの喪失。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ サイドハンドルが正しく取り付けられ、しっかりと固定されていることを確認してください。クランピングバンドが本体の専用の溝にはまっていることを確認してください。  注意 負傷の危険 取り付けてあるが使用してはいないデブスゲージにより作業者の作業が妨げられる危険があります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 本体からデブスゲージを取り外します。 	4
チャックを取り付ける / 取り外す  注意 負傷の危険 取り付けてあるが使用してはいないデブスゲージにより作業者の作業が妨げられる危険があります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 本体からデブスゲージを取り外します。 	5
先端工具を装着する  注意事項 適切でないグリスを使用すると、本体の損傷の原因となることがあります。必ずHiltiの純正グリスを使用してください。  注意事項 装着後に先端工具を引っ張り、ロックされているか確認します。	6
先端工具を取り外す  危険 火災の危険 熱くなっている先端工具と引火性が高い物質との接触による危険。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 熱くなっている先端工具を引火性が高い物質の上に置かないでください。  警告 負傷の危険 使用中に先端工具が高温になる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。 	7
デブスゲージを取り付ける / 調整する	8

<p>正逆回転機能</p> <p> 注意 損傷の危険 作動中の操作はギア部損傷の原因となることがあります。 ▶ 作動中に正回転 / 逆回転切り替えスイッチを操作しないでください。</p>	9
<p>バッテリーを装着する</p> <p> 警告 負傷の危険 コンビハンマードリルは意図せず作動することがあります。 ▶ バッテリーを装着する前に、コンビハンマードリルのスイッチがオフになっていて正回転 / 逆回転切り替えスイッチが中立の位置（スイッチオンロック）になっていることを確認してください。</p> <p> 警告 電気的な危険 短絡による危険。 ▶ バッテリーを装着する前に、バッテリーの電気接点とコンビハンマードリルの電気接点に異物が入っていないか確認してください。</p> <p> 警告 負傷の危険 バッテリーの落下による危険があります。 ▶ バッテリーが落下してご自身あるいは他の方が怪我をする恐れがあります。バッテリーがコンビハンマードリルにしっかりと固定されていることを確認してください。</p>	11
<p>回転のみ</p>	10
<p>回転 + 打撃</p>	10
<p>ハツリ作業</p>	10
<p>チゼル角度調整</p> <p> 注意 負傷の危険 ハツリ方向のコントロールの喪失。 ▶ 機能切り替えスイッチが「チゼル角度調整」位置で作業をしないでください。機能切り替えスイッチを「ハツリ作業」の位置にし、その位置にロックさせます。</p> <p> 注意事項 チゼルは 12 の異なる位置に（30° ステップで）調整することができます。これによってコールドチゼルでもスケーリングチゼルでも、最適の角度で作業できます。</p>	10

6 手入れ、保守、輸送および保管

6.1 製品の手入れ

-  **警告**
感電による危険！ 電気部品の誤った修理は、重傷事故および火傷の原因となることがあります。
▶ 電気部品の修理を行うことができるのは、訓練された修理スペシャリストだけです。

- ▶ 本製品、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着しないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。
- ▶ 通気溝が覆われた状態で本製品を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本製品内部に異物が入らないようにしてください。
- ▶ 定期的に、少し湿したウエスで本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。

6.2 Li-Ion バッテリーの手入れ



注意事項

セルの損傷を防ぐために、自動遮断装置が放電を終了させます。バッテリーのコンディショニングは必要ありません。充電を中断しても、バッテリーの寿命に影響はありません。バッテリーの寿命に影響を及ぼすことなく、いつでも充電を開始することができます。バッテリーがフル充電できなくなった場合は、劣化や過負荷で容量が低下しています。そのようなバッテリーで作業を続けることはまだ可能ですが、適当な時期にバッテリーを新品と交換してください。

- ▶ はじめてお使いになる前にはバッテリーをフル充電してください。
- ▶ 湿気が入らないようにしてください。

6.3 バッテリーの搬送および保管



警告

火災の危険 短絡による危険があります。

- ▶ 短絡による加熱を防止するために、Li-Ion バッテリーを保護せず梱包していない状態で保管、あるいは輸送することは決してしないでください。

- ▶ バッテリーを引いて、作業時のロック位置から最初のロック位置へ動かしします。
- ▶ バッテリーをトラック、鉄道、船舶あるいは航空機により輸送する際は、輸送に関する各国および国際的な規定に注意してください。



注意事項

バッテリーはフル充電した状態でできるだけ涼しくて乾燥した場所に保管するのが最適です。周囲温度が高い場所（窓際）にバッテリーを保管すると、バッテリーの寿命に影響が出て、セルの自己放電率が上昇します。

7 廃棄



警告

負傷の危険。 誤った廃棄による危険があります。

- ▶ 機器を不適切に廃棄すると、以下のような問題が発生する恐れがあります：プラスチック部品を燃やすと毒性のガスが発生し、人体に悪影響を及ぼすことがあります。電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、毒害、火傷、腐食または環境汚染の危険があります。廃棄について十分な注意を払わないと、権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。このような場合、ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。
- ▶ 故障したバッテリーはただちに廃棄してください。廃棄したバッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。バッテリーを分解したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ バッテリーは各国の法律規制に従って廃棄するか、使わなくなったバッテリーはHiltiへ返送してください。

🗑️ Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でHiltiは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にお尋ねください。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準と各国の法律に基づき、使用済みの電気工具は一般ゴミとは別にして、環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。



- ▶ 本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

8 メーカー保証

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りのHilti 代理店・販売店までお問い合わせください。

9 EU 規格の準拠証明

メーカー

Hilti Aktiengesellschaft
Feldkircherstrasse 100
9494 Schaan

Liechtenstein

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します。

名称	バッテリーコンピハンマードリル
機種名	TE 30-A36
製品世代	02
設計年	2012
適用基準 :	<ul style="list-style-type: none">• 2004/108/EG (2016年4月19日まで)• 2014/30/EU (2016年4月20日以降)• 2006/42/EG• 2011/65/EU• 2006/66/EG
適用規格 :	<ul style="list-style-type: none">• EN 60745-1, EN 60745-2-6• EN ISO 12100
技術資料管理者 :	<ul style="list-style-type: none">• Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH Zulassung Elektrowerkzeuge Hiltistraße 6 86916 Kaufering Deutschland

Schaan, 2015/05



Paolo Luccini
(Head of BA Quality and Process Management /
Business Area Electric Tools & Accessories)



Tassilo Deinzer
(Executive Vice President / Business Unit Power
Tools & Accessories)



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423/234 21 11

Fax: +423/234 29 65

www.hilti.com

